

ホームページ維持対策として サーバ自動バックアップサービスを契約

ホームページを安定して維持管理運用するために、サイト管理者によって日常的に実施されている山行記録や写真アルバム、TTC通信等のコンテンツの掲載作業の他、現在約 1GB のデータ容量のある TTC ホームページのデータファイルを、どんなアクシデントがあっても喪失したり、再構築不能に陥ることがない様、TTC ホームページデータが収容されているレンタル契約ホームページサーバの全データを、サイト管理者個人の PC に、定期的にダウンロード/インストールし、さらに、クラウドコンピューティングサービス等を利用して、サイト管理者の PC と物理的に分離された別なサーバや記憶媒体に定期的にバックアップする等、ホームページの安定的な維持管理のために、サイト管理者は相当な労力を使っています。この度、サイト管理者の負担の大幅軽減と、今後予定されているサイト管理者のスムーズな引継ぎ、複数担当者によるサイト運用を見据えた方策として、ホームページサーバのレンタル先である lolipop の新規サービス「サーバ自動バックアップサービス」を利用します(5月世話人会/例会で承認済み)。これにより、TTC サイトの全データは、専用サーバに定期的にバックアップされ、サイト管理者はこのデータをいつでもダウンロードできるようにしますので、これまでのようなデータ保全作業が基本的に不必要になります。本サービス料金は月額 300 円(税抜)で、容量 60GB のサーバレンタル料金: 月額 300 円(税抜)と合わせ、ホームページの管理運用費用は月額 600 円(税抜)になります。

山行実施結果報告

★伊豆ヶ岳・子ノ権現(提案)★

★☆4/26(土)、公共交通利用、天候:快晴、参加 14 名。CL/計

画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ7名削除。登山口で埼玉県防災部の方から緊急登山安全グッズのプレゼントあり。6名が伊豆ヶ岳男坂の刈場に挑戦。

★丹沢三峰(提案)★★★

☆5/3(土)、公共交通利用、天候:晴、参加 11 名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ7名削除。行動時間 11 時間超の新緑のロングトレールを全員無事完歩。

★大山街道を歩く①(ゆ)★

☆5/5(祝)、公共交通利用、天候:曇り一時雨、参加 15 名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ7名削除。5回シリーズの第1回:赤坂見附-二子玉川までの約 15km を 7.5 時間かけて歩く。

★奥多摩三頭山(定例)★

☆5/10(土)、マイクハス利用、天候:快晴、参加 14 名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。往路道を遠回りするポイントもあったが、新緑萌えるハイキングを堪能。帰路温泉立寄り。

至近の山行予定

◇日向山・尾白川溪谷(提案)★

★☆5/31(土)、マイクハス利用。申込 17 名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。

当初計画の逆コースに変更予定(計画書改訂版発行予定)。

◇西丹沢檜洞丸(提案)★★★

6/7(土)日帰、公共交通利用。申込 11 名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ7名削除。

◇毛無山(提案)★★☆

6/15(日)日帰、マイクハス利用。申込 15 名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。

◆八ヶ岳美し森・天女山(定例)

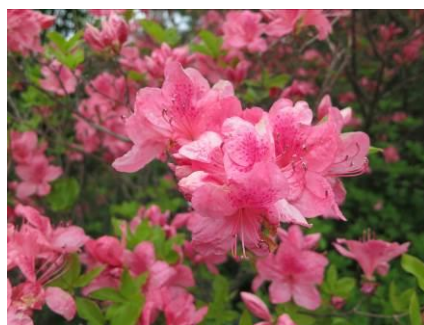
★6/22(日)日帰、マイクハス利用、申込:17名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。

◇志賀高原焼額山・岩菅山・赤石山(提案)★★☆

7/5-7/7; 2泊3日。公共交通利用。申込 10 名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ7名削除。

山の花、野の花

ヤマツツジ【山躑躅】(ツツジ科) ツツジ属の半落葉低木



那須八幡のヤマツツジ 大群生地(見頃: 5/下)

ヤマツツジは北海道南部から本州、四国、九州の低山の疎林、林縁、日当たりのよい尾根筋、草原等に広く分布する我国野生ツツジの代表である。樹高 1-5m で、春先に長さ 2-5cm/幅 0.7-3cm の楕円形の春葉を出すのが秋に落葉する。夏-秋に長さ 1-2cm の小型の夏葉が芽を出し、一部はそのまま越冬する。花期は 5/上-6/上。枝先の 1 個の花芽に 1-3 個の鮮やかな朱色の花を咲かせる。花径 3-4cm の漏斗型で、5 中裂し、雄蕊は 5 本。果実は長さ 6-8mm の長卵型で、8-10 月に熟して開裂する。近隣種にヤマギキヤマツツジ、シヤマツツジの他、オシマ、ミカリ、サカイ等の地域固有種がある。

群生地として有名なのは、大阪/奈良県境の葛城山(5/中、一目 100 万本)、那須八幡(5/下旬; 20 万本)、気仙沼徳仙丈山(5/中-下; 50 万本)、筑波山、日光霧降高原、伊豆松崎高通山、三窪高原、赤城高原、扇山南尾根等(5/中)。今度行く美し森の山中には国指定天然記念物の大ヤマツツジがある(6/上)。

◇大山・蒜山高原(提案)★★

7/5-7/7; 2泊3日、航空機利用、申込2名 CL/計画:、SL/会計・救護: **スタッフ名削除**。

◆尾瀬ヶ原(定例)★★

7/19-7/20; 1泊2日、公共交通利用、申込13名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

◇飯豊山縦走(提案)★★★★☆

7/26-7/29; 3泊4日、公共交通利用、申込11名。CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ名削除**。

◇北ア立山・剣岳(提案)★★★

★8/2-8/4; 2泊3日、マイカー利用、申込3名。CL/計画/救護:、SL、会計: **スタッフ名削除**。要ヘルメット。

6月募集山行

◇大山街道ウォーキング②(ゆ)★☆☆

6/28(土)、日帰、公共交通利用。提案: **氏名削除**。二子玉川～青葉台間約17kmを歩く。

◇北ア鷲羽岳・水晶岳・雲の平

(提案)★★★★; 4泊5日、マイカー利用。提案: **氏名削除**。仮申込: 7名。

安全登山豆知識

最近の山岳遭難状況と登山届義務化の動き

8/11を国民の祝日「山の日」と定める法案が衆議院を通過、本年度中に成立し、再来年8/11から祝日になりそう。一方、今年のGW期間中に北アルプスを中心に、22名の死者・行方不明者を出すなど、中高年を中心に遭難者増に歯止めが利かない。

地元神奈川県警の発表によれば、県下の山岳遭難事故は、西丹沢山域を中心に、09年: 69件/86人、10年: 62件/79人、11年: 70件/83人、12年: 93件/123人、13年: 89件/115人と増加傾向にある。13年の内訳は死亡9人、行方不明1人、骨折等の重傷20人、軽傷30人。遭難原因の約半数51人が道迷い、滑転落24人、転倒19人、病気7人。70代以上が最多の33人、50代22人、40代19人、30代14人、60代13人、20代9人、10代以下5人。男性が女性の約2倍の75人に上る。13年の89件中、登山届が提出されていたのはたった8件のみ。迅速な遭難救助に欠かせない登山届は殆ど提出されていないという

のが実情のようだ。現在登山届の提出を県条例で義務付けている県は、富山県(4, 5, 11月の室堂からの入山。登山届の提出と雪崩ビコン携帯、山岳保険加入の義務化)、群馬県(パソコン・携帯電話からの登山届提出を奨励)であるが、現状罰則はないようだ。穂高岳山域で遭難事故が多発している岐阜県では、北ア山域に入山する登山者への登山届提出を義務づける県条例制定を進めている。提出しなかったり虚偽の届けをすると5万円以下の過料が課される。TTCもルート経由での登山届提出を検討する必要がある。

山に想う

山は私の活力源

#101 **氏名削除**

私がこの年齢で、又、登山を始めたキッカケは、富士山に登りたいと思ったからでした。一生のうちに一度でいいから、日本一高い山、富士山に登りたいという一念からでした。

おおよそ、40年位前に少し登山をやっていて、3000m級の山に幾つか登りました。日本で二番目に高い北岳に登りました。二番目に高い山に登ったのだから、一番高い富士山に登りたいと長い年月思っていました。

しかし、子育てや仕事で登るチャンスもなく、長い年月が過ぎてしまいました。たまたまある旅行会社のツアーで、毎月1回登山をしてレベルの低い山から段々にレベルの高いやまに登り6回目に富士山に登るというのがありました。

試しに行ってみようと参加してみたら無事念願の富士山に登ることができました。

この年齢でも登ることができるようだと自信になりました。さて、登山用品を揃えてしまい、これからどうする?ということになりました。

これも又、たまたま登山用品店に置いてあったチラシでTTCを知り、お試し山行に参加しました。皆さん大変楽しそうに登っていらっしやるので私にも出来るかも、と入会しました。

学生の頃の登山は根性登山でした。重いザックを背負ってひたすら足元を見て登り、景色などみる余裕もなく、苦しんで登りあっちこっち怪我をして泣き泣き下山しました。楽しいなんて思えない登山でした。

一人では出来ませんが、サークルで活動すれば、自分の能力に合わせて無理なく、楽しんで登ることが出来るのだとつくづく思いました。

TTCの自然を愛し、山を愛し、人を愛し、変わらぬ友情を育むと言うモットーに大変感銘を受けました。なにしろTTCのメンバーはやさしくて、暖かくて、親切です。

和気あいあい冗談を言いながら登山するメンバーと集合場所でお会いできるのが嬉しくて嬉しくて前の晩からワクワクしています。

下界では疲れやすかったり、風邪をひいたり、あまり丈夫ではないのですが、不思議と山に行くと疲れることもなく、元気になります。

空気もおいしく、山が私に元気を与えてくれます。生きる活力を与えてくれます。

私は奥武蔵の山々が見えるところで育ちました。子供の頃は母親にお弁当を作ってもらい、友達と近所の山に良く登っていました。山に行くと木に登ったり、栗を拾ったりして遊んでいました。都会に住んでいたこともありますが、厚木に引っ越して来て、丹沢の山々を眺めたとき、故郷の山々と重なりホッとしました。生まれ育った山河が私を山に誘うのかもしれない。

体力も無く、筋力も無く、技術も無いので、高い山、難しい山には登れませんが、身の丈に合った山を選んで少しずつ、細く長く登山を続けていきたいと思えます。

今回は**氏名削除**さんの登場です。

6月例会 6/21(土)、厚木市睦合南公民館展示室、安全登山教室 18:30-19:30、例会 19:30-21:00、世話人会 18:00-18:30。